

まちなか再生事業の取り組み 25

11月12日ウッドリーム オープン式典を開催

大通地区コミュニティ施設「ウッドリーム」がグランドオープンを迎えるにあたり、オープン式典を実施しました。

そこで、今月号では、式典の様様を中心にお伝えしていきます。

式典は、来賓の方や関係者など約30名が参加して執り行われ、冒頭に主催者として町長が「津別に賑わいの核となる都心をつくりたい」とあいさつし、続いて衆議院議員武部新氏（秘書代行）、道議会議員高橋文明氏をはじめ来賓4名より、祝辞をいただきました。

また、愛称「ウッドリーム」を考えた斉藤叶夢くんへ町長



▲テープカットで、ウッドリーの全面供用開始を祝いました



▲施設の壁面にウッドリーのサインが設置されました。ロゴのデザインは津別町出身の柳瀬可奈子さんが手がけました



▲式典当日に開店したグリーズ・コーヒー・ラウンジから無料でコーヒーや抹茶が振る舞われました



施設の愛称は全国から公募し、714点もの応募がありました。その中から選ばれたのは、津別中学校3年生の斉藤叶夢くんが考えた「ウッドリーム」です。式典では、町長より感謝状が贈呈され、叶夢くんから愛称に込められた思いが話されました。

より感謝状が贈呈され、叶夢くんからは「みんなの夢があふれる場所になって欲しい」

と愛称に込められた思いを話してもらいました。施設の概要説明では、設計



▶あいさつする佐藤町長

者である株式会社「D&K」の代表取締役福井直土さんから、設計に携わった際のエピソードも交えながら施設のコンセプトについて、またウッドリーのロゴデザインを手がけた津別町出身のデザイナー柳瀬可奈子さんより、絵本の虹のアーチにまる太くんを重ねたとのデザインの趣旨が話されました。

また、市街地総合再生基本計画推進協議会の前会長であった濱谷雅弘氏も駆けつけ、津別のまちづくりを子育てになぞらえ、みんなで立派な大人になるよう支えて欲しいと施設の



◀祝辞を述べる高橋文明道議会議員

式典の後には、同じく12日より新たに開店した、グリーンマートが運営する「グリーズ・コーヒー・ラウンジ」よりコーヒーと抹茶が無料で振る舞われ、寒空の下での式典でありましたが、心身ともに温まるおもてなしがされ、参加者は飲み物を手にししばらくの間、式典の余韻に浸っていました。

完成を祝うあいさつをされました。式典の最後に町長と来賓の方々によるテープカットが行われ、津別の新しい賑わい創出の拠点となる施設のオープンを祝

ウッドリーの全ての機能が稼働しました

ウッドリームには、買い物のための商業施設、多世代の学びと交流の拠点である図書館、休憩や待合、イベントにも対応する屋内公共空間（ひろば）、そして町内外への移動のための公共交通拠点と大きく4つの機能があります。今年5月より、順次稼働を始め、11月17日に旧議事堂にあったバスターミナルが、翌18日には、津別ハイヤー事務所がウッドリーム内に移転し、公共交通機能として供用を開始しています。駐輪場の整備も終わり、これにより全ての機能が稼働したことになります。施設の閉館時間も、12月1日からのダイヤ改正後の始発便に合わせ、午前5時45分から午後8時30分までとなりました。今後も町民をはじめ多くの皆様に利用され、交流と賑わい創出の拠点となるような施設運営に努めていきたいと考えています。

これまでの議論経過や配付資料、Q&A等については下記に掲載しています。

津別町ホームページ内【まちなか再生事業】ページ

詳しくは……

<https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/choseijoho/chihososei/2/index.html>

《事業に対する問い合わせや疑問、出張説明のご依頼などを随時受付しています》

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc14naEOJ3vMigL4_sYC5xAFnt0-qk6JT40tAdIA-GCptwMjQ/viewform?pli=1



◀ QRコードが読み込める機器をご使用の場合は、ここからもアクセス可能です



QRコード